

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新及び
LPG 焚吸収式冷温水機から
都市ガスヒートポンプへの更新プロジェクト

排出削減事業者名：岩田食品株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	岩田食品株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	本社工場
住所	愛知県一宮市萩原町松山566-8
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新及びLPG 焚吸収式冷温水機から都市ガスヒートポンプへの更新プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 4 基を都市ガスボイラ 4 基へ更新する。また、LPG 焚吸収式冷温水機 1 基を都市ガスヒートポンプ 1 基に更新する。高効率のボイラ及びヒートポンプへ更新し、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで、CO2 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

A 重油ボイラ 4 基を都市ガスボイラ 4 基及びLPG 焚吸収式冷温水機 1 基を都市ガスヒートポンプ 1 基へ更新する。高効率の都市ガスボイラ及び都市ガスヒートポンプへ更新することで、省エネルギーを図り、CO2 排出量を削減するとともに、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することによって、CO2 排出量を削減する

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

【本認証申請時に申請】

①代表者の変更

②排出削減事業担当者、モニタリング活動担当者等の部署・役職名変更

1 排出削減事業者の情報

【変更前】

排出削減事業担当者	
部署・役職名	生産本部 生産管理部 マネージャー

【変更後】

排出削減事業担当者	
部署・役職名	生産本部 生産部 部長

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2011年12月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月1日 ～ 2019年11月30日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

【001 ボイラーの更新】

都市ガスボイラ及びボイラから蒸気の供給を受ける設備

【004 空調設備の更新】

都市ガスヒートポンプ及びヒートポンプから冷暖房の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
F _{fuel,PJ-1} F _{fuel,PJ-2} F _{fuel,PJ-3}	都市ガス使用量	Nm ³	(2016年度) 1,097,198【ボイラ】 6,662.40【冷房】 1,230.99【暖房】 (2017年度) 1,155,120【ボイラ】 5,035.53【冷房】 1,649.14【暖房】 (2018年度以降) 2,020,825【ボイラ】 15,403.71【冷房】 1,202.73【暖房】	メーター値(標準状態値)	変更なし
HV _{fuel,PJ}	都市ガスの単位発熱量	GJ/Nm ³	(2016年度) 0.0444 (2017年度) 0.0445 (2018年度) 0.0436	デフォルト値	変更なし
ε _{PJ-1}	事業実施後都市ガスボイラ効率	%	86.94 (高位発熱量、加重平均)	カタログ値	変更なし
ε _{PJ-2} ε _{PJ-3}	事業実施後都市ガスヒートポンプ効率	%	128.79 (高位発熱量、冷房) 146.60 (高位発熱量、暖房)	カタログ値	変更なし
ε _{BL-1}	事業実施前 A 重油ボイラ効率	%	84.99 (高位発熱量、加重平均)	カタログ値	変更なし
ε _{BL-2}	事業実施前 LPG 焚吸収式冷温水機効率	%	95.00 (高位発熱量、冷房)	カタログ値	変更なし

ε_{BL-3}			83.00 (高位発熱量、暖房)		
$CF_{fuel,BL-1}$	A 重油の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0708	デフォルト値	変更なし
$CF_{fuel,BL-2}$	LPG の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0601	デフォルト値	変更なし
$CF_{fuel,PJ}$	都市ガスの単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0513	デフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

【001 ボイラーの更新】

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
1,097,198 (Nm3)	0.0444(GJ/Nm3)	0.0513(tCO2/GJ)	
1,155,120 (Nm3)	0.0445(GJ/Nm3)	0.0513(tCO2/GJ)	
2,020,825 (Nm3)	0.0436(GJ/Nm3)	0.0513(tCO2/GJ)	
EM _{PJ}			9,656.0 (t-CO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
1,097,198 (Nm3) 86.94 (%) 84.99 (%)	0.0444(GJ/Nm3)	0.0708(tCO2/GJ)	
1,155,120 (Nm3) 86.94 (%) 84.99 (%)	0.0445(GJ/Nm3)	0.0708(tCO2/GJ)	
2,020,825 (Nm3) 86.94 (%) 84.99 (%)	0.0436(GJ/Nm3)	0.0708(tCO2/GJ)	
EM _{BL}			13,632.3(t-CO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

【004 空調設備の更新】

6.4 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
6,662.40 (Nm3) 1,230.99 (Nm3)	0.0444(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
5,035.53 (Nm3) 1,649.14 (Nm3)	0.0445(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
15,403.71 (Nm3)	0.0436(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	

1,202.73 (Nm3)			
EM _{PJ}			70.4 (t-CO ₂)

6.5 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
6,662.40 (Nm3) 128.79 (%) 95.00 (%)	0.0444(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
1,230.99 (Nm3) 146.60 (%) 83.00 (%)	0.0444(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
5,035.53 (Nm3) 128.79 (%) 95.00 (%)	0.0445(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
1,649.14 (Nm3) 146.60 (%) 83.00 (%)	0.0445(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
15,403.71 (Nm3) 128.79 (%) 95.00 (%)	0.0436(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
1,202.73 (Nm3) 146.60 (%) 83.00 (%)	0.0436(GJ/Nm3)	0.0601(tCO ₂ /GJ)	
EM _{BL}			116.2 (t-CO ₂)

6.6 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
			0
LE			0

6.7 温室効果ガス排出削減量

【001 ボイラーの更新】

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	13,632.3
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	9,656.0

リーケージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	3,976

【004 空調設備の更新】

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.5)	<i>EM_{BL}</i>	116.2
事業実施後排出量 (7.4)	<i>EM_{PJ}</i>	70.4
リーケージ排出量 (7.6)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	45

【合計】

項目	記号	
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	4,021

7 省エネルギー量

【001 ボイラーの更新】

	原油換算 (kl)		
	ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
	5,075.0	4,961.1	113.9

省エネ量=5,075.0-4,961.1=113.9 (kl)

【004 空調設備の更新】

	原油換算 (kl)		
	ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
	64.0	36.2	27.8

省エネ量=64.0-36.2=27.8 (kl)

8 再生可能エネルギー利用量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。